土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　　三次町4158-1地区急傾斜地崩壊事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託(交付金)

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor-1	調査位置	広島県三次市三次町寺戸			北緯	34° 48′ 57.9894″
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	令和04年12月27日～令和04年12月28日	東経	132° 51′ 9.6280″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 175.10 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D-1B
総削孔長	5.00 m							エンジン	ヤンマーNFD-13	ポンプ	東邦地下工機BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験 N値	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	173.60	1.50		礫混じり粘土質砂		淡茶褐	中ぐらい		砂は細～粗粒砂から構成されている。φ=10～40mmの亜角，角礫を混入する。全体的に粘土分を混入する。深度0.75m以深風化土状を示す。			24.0	1.15	6	6	12	24						
2	172.75	2.35		安山岩・砂質土		淡黄褐			安山岩の風化土。コアは土丹状を示し強指圧にて崩れる。岩盤組織は判別できる。岩級区分DLクラス。			50.0	1.45 2.15	14	16	20	300 50	300					
3	171.40	3.70		安山岩・軟岩		淡黄褐～暗緑灰			安山岩の風化岩。コアは土丹状～礫状を示す。土丹状コアは強指圧にて変形する。深度2.8～2.95m間短柱状コアの風化残り。岩級区分DM(DM～CL)クラス。			60.0	2.45 3.15	18	18	14	300 50	250					
4	170.10	5.00		安山岩・軟岩		暗緑灰～淡茶灰			安山岩の風化岩。コアは岩片～短柱状を主体とする。深度4.6～4.8m間礫状コアを示す。コア肌は粗面状，ハンマ軽打にて濁音を発し，崩れる。亀裂は低角度が主体，キレツ面は茶褐色に変色。岩級区分CL(DH～CM)クラス。			50.0	3.40 4.00	50		50	250 50	0					
5												50.0	4.00 5.00	0 50			0 50	0					12/28
6													5.00	0			0						